

② 公園緑地間や周辺施設等との連携強化

◆ 住民や企業等と連携するための仕組みの構築

⇒府営公園や市営公園で住民や企業等が公園づくりに参加できるプラットフォームの設置

⇒府営公園と府民の森の連携による自然環境を保全・活用した取組の推進

⇒地域等と連携した防災に関する取組の実施

⇒市町村等が参加する研修や勉強会などの場を活用した制度ノウハウや成功事例の共有

◆ 共通HP等による四季の花やイベントなどの情報発信

⇒府営公園や市営公園の情報を一括してポータルサイトやSNSで発信するなど、府市連携による新しいプロモーションの充実

◆ テーマやストーリー設定による公園緑地めぐりを促す取組の検討

⇒花や庭園、文化財など様々な観光資源をテーマやストーリーでつなげ、ツーリズムやサイクルネットワークの活用、イベントの同時企画など、公園緑地間の回遊性を高める取組を検討

◆ ウィズコロナ・ポストコロナでの新しい公園緑地の利活用・その仕組みの検討

⇒大阪市内の公園緑地で取り組んでいる、試行的な利活用の事例やノウハウを府域の公園緑地にも共有し、より積極的な利活用を促進

公園と公園、公園と森、公園と海等をつないでいく



地域連携協議会（服部緑地）



各種公園のバラの開花情報



観光誘致の情報発信



公募型イベントの実施

※周辺施設等は、市の中小公園や港湾緑地、民間施設をイメージ

府市共通のHP等による情報発信

◆既存ポータルサイトの活用



大阪観光局 OSAKA-INFO

◆SNSの活用



#Osaka_Park

◆各種媒体の活用



観光誘致の情報発信



インバウンド向け情報誌

ウィズコロナ・ポストコロナでの新しい公園緑地の利活用

◆府市で住民・企業等の自主企画イベントを公募・実施し、コロナ禍での新しい公園緑地の使い方の検討を進める。

【参考】R2 鶴見緑地での公園活用プログラム



アウトドア・キャンプグッズ体験



えほんピクニック(読み聞かせなど)



ワークショップ体験



③ まちづくりと一体となった新たな公園緑地整備

公園緑地整備の具体例

● 新たなまちの中心となるうめきた2期公園の整備

⇒多様な活動・新しい価値を生み出し、世界の人々を惹きつける「みどり」の創出

● 歴史魅力あふれる難波宮跡公園の整備

⇒大阪を代表する新たな歴史文化観光拠点、府下の史跡等の情報発信ネットワーク拠点の創出

● まちの活性化に資するりんくう公園エリア等の整備

⇒海岸線がつながる、りんくう公園エリアのいこい・にぎわい拠点の創出



「うめきた」



難波宮跡公園



りんくう公園

うめきた

2024年夏頃に先行まちびらき
(一部都市公園と一部民間宅地)



世界に発信する“MIDORI”LIFEを生み出す、
未来へのひらめきと原動力となる「みどり」を創出

都市公園内の整備イメージ



森や水、花など自然とのつながりを重視した憩いの場



緩やかな丘の地形を感じるゾーン



イベント広場ともなる大広場ゾーン



多様な使われ方を受け入れる大広場ゾーン

難波宮跡



大阪城公園と一体となった大阪を代表する
歴史魅力あふれた公園整備



現況(歴史博物館からの鳥瞰写真)

歴史文化・観光発信拠点



りんくう公園エリア

多彩な公園とまち・海をつなぐ新たなレクリエーション拠点の形成



泉南市営りんくう公園

府民の憩いの場として、にぎわいを創出し、レクリエーションゾーンとして再生させ、泉南市のまちづくりの拠点とする公園



府営りんくう公園

美しいパノラマ景観を活用し、民間事業者等による飲食機能の充実など、新たなサービスを提供することで地域の賑わいづくりを支援



民間活力によるみどり空間の創造

民間活力を活用し、大型商業施設の拡張に合わせ、海辺とまちを繋ぎ、様々なアクティビティを備える緑の空間を整備



スケートリンクを核とした公園的空間のまちづくり

スケートリンクを核とした豊かな緑と賑わいあふれる公園的空間のまちづくりの推進

りんくう公園エリア管理運営連絡会などのプラットフォームを活用し、「連携の四本柱」の実現

運営・管理

広報

イベント

回遊性向上

